



2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月8日 東

上場会社名 ミヨシ油脂株式会社
コード番号 4404

上場取引所

URL <http://www.miyoshi-yushi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO 兼CBO (氏名) 三木 逸郎

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 小河 尚典 (TEL) 03-3603-1149

四半期報告書提出予定日 2023年5月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績 (2023年1月1日~2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	13,840	17.8	△123	—	△88	—	△74	—
2022年12月期第1四半期	11,747	3.9	△334	—	△249	—	△139	—

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 △124百万円(—%) 2022年12月期第1四半期 169百万円(△84.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2023年12月期第1四半期	円 銭 △7.32	円 銭 —
2022年12月期第1四半期	△13.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2023年12月期第1四半期	百万円 55,654	百万円 24,151	% 43.3
2022年12月期	58,669	24,562	41.8

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 24,112百万円 2022年12月期 24,522百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年12月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 30.00	円 銭 30.00
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想 (2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	28,700	12.8	200	—	270	—	210	—	20.58
通期	56,600	7.3	820	—	910	—	610	—	59.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期 1 Q	10,306,895株	2022年12月期	10,306,895株
② 期末自己株式数	2023年12月期 1 Q	84,385株	2022年12月期	101,204株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期 1 Q	10,211,297株	2022年12月期 1 Q	10,205,691株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年1月1日~2023年3月31日)における我が国経済は、政府の諸政策の効果により景気には緩やかな回復の兆しが見えはじめましたが、長期化するロシア・ウクライナ情勢を契機として資源価格・エネルギー価格が高止まりする一方、世界的な金融引き締めに伴い景気の下振れリスクが高まるなど、今後の先行きについては依然として予断を許さない状況が続きました。

当油脂加工業界におきましては、バイオ燃料向けの需要拡大により油脂原料価格が高値圏で推移していることに加え、国際情勢の変化や為替等の影響により各種原材料、エネルギー、物流費等の様々なコストが上昇しており、非常に厳しい経営環境で推移しました。

このような状況のなかで当社グループは、既存製品の品質向上や市場ニーズに対応した高付加価値製品の開発に取り組むとともに、オンラインツールを活用した販売活動を強化するなど、新規市場の開拓に努めました。また、各種原材料価格の上昇に対応すべく、販売価格の改定を推し進め収益の確保にも努めました。

この結果、売上高は13,840百万円(前年同期比17.8%増)、営業損失は123百万円(前年同期は営業損失334百万円)、経常損失は88百万円(前年同期は経常損失249百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は74百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失139百万円)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

① 食品事業

食品事業につきましては、ウィズコロナを前提とした経済活動の正常化が続くなかで、外食産業および土産菓子業界等の需要は回復基調となりましたが、油脂原料価格が高値圏で推移したことや、諸物価の上昇による消費者の節約志向の高まり等を受け、全体としては大変厳しい状況で推移しました。

このような状況のなか、新規市場の開拓への取り組みを強化するとともに、当社主力製品であるマーガリン・ショートニングを中心とした拡販に注力し、収益の確保に努めました。また、一昨年から数えて5回目となる販売価格の改定を推し進めた結果、売上高は9,240百万円(前年同期比15.4%増)となりましたが、利益面では、各種原材料をはじめエネルギー、物流費等の様々なコストが増加した状況下で、販売価格改定の効果の実現が充分間に合わず、営業損失は260百万円(前年同期は営業損失408百万円)となりました。

② 油化事業

工業用油脂製品につきましては、高付加価値グリセリンの拡販に注力しましたが、中国経済の停滞や自動車、タイヤ、塗料等の国内向け需要減少の影響を受けて、主力の脂肪酸、グリセリンとともに低調に推移しました。

界面活性剤関連製品につきましては、コロナ禍からの行動制限が緩和されたことで、紙・パルプ分野の家庭紙用薬剤の需要が回復するとともに、化粧品分野の高付加価値シャンプー向け原料基剤「アンホレックス」やクレンジング製品向け原料基剤「Mファインオイル」の販売が好調に推移しました。また、環境関連分野の飛灰用重金属処理剤は、主要原料の世界的な需給ひっ迫と原料価格上昇による影響を受け低調に推移しました。

この結果、売上高は4,387百万円(前年同期比20.3%増)、営業利益は129百万円(前年同期比147.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3,014百万円減の55,654百万円となりました。主な減少は受取手形及び売掛金1,220百万円、現金及び預金1,081百万円、電子記録債権597百万円、流動資産のその他396百万円であり、主な増加は原材料及び貯蔵品317百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ2,603百万円減の31,502百万円となりました。主な減少は支払手形及び買掛金2,238百万円、電子記録債務345百万円、借入金190百万円、固定負債のその他60百万円であり、主な増加は流動負債のその他376百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ411百万円減の24,151百万円となりました。主な減少は利益剰余金383百万円、その他有価証券評価差額金33百万円であります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末の41.8%から43.3%に増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の業績予想につきましては、2023年2月13日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,955	3,873
受取手形及び売掛金	14,693	13,473
電子記録債権	3,123	2,525
商品及び製品	3,678	3,451
仕掛品	1,022	1,050
原材料及び貯蔵品	3,888	4,206
その他	976	579
貸倒引当金	△159	△162
流動資産合計	32,179	28,997
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,916	3,819
機械装置及び運搬具（純額）	4,156	4,085
土地	6,380	6,380
その他（純額）	533	829
有形固定資産合計	14,986	15,114
無形固定資産		
その他	525	612
無形固定資産合計	525	612
投資その他の資産		
投資有価証券	7,438	7,380
退職給付に係る資産	2,904	2,928
その他	674	656
貸倒引当金	△38	△35
投資その他の資産合計	10,978	10,930
固定資産合計	26,490	26,656
資産合計	58,669	55,654

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,525	12,286
電子記録債務	846	500
短期借入金	6,425	6,425
1年内返済予定の長期借入金	720	665
未払法人税等	84	41
その他の引当金	3	7
その他	1,967	2,343
流動負債合計	24,570	22,269
固定負債		
長期借入金	5,185	5,050
退職給付に係る負債	2,469	2,401
役員退職慰労引当金	21	-
役員株式給付引当金	51	33
その他	1,808	1,748
固定負債合計	9,535	9,233
負債合計	34,106	31,502
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,015	9,015
資本剰余金	5,492	5,492
利益剰余金	7,180	6,796
自己株式	△147	△124
株主資本合計	21,540	21,178
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,455	2,421
退職給付に係る調整累計額	526	511
その他の包括利益累計額合計	2,982	2,933
非支配株主持分	40	39
純資産合計	24,562	24,151
負債純資産合計	58,669	55,654

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
売上高	11,747	13,840
売上原価	10,442	12,226
売上総利益	1,304	1,614
販売費及び一般管理費	1,639	1,737
営業損失(△)	△334	△123
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	77	37
持分法による投資利益	28	3
その他	17	40
営業外収益合計	124	82
営業外費用		
支払利息	22	26
その他	16	21
営業外費用合計	38	48
経常損失(△)	△249	△88
特別利益		
投資有価証券売却益	17	-
特別利益合計	17	-
特別損失		
有形固定資産除却損	2	3
特別損失合計	2	3
税金等調整前四半期純損失(△)	△234	△92
法人税、住民税及び事業税	3	6
法人税等調整額	△101	△22
法人税等合計	△97	△16
四半期純損失(△)	△136	△75
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	3	△0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△139	△74

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純損失(△)	△136	△75
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	306	△33
退職給付に係る調整額	△0	△15
その他の包括利益合計	305	△48
四半期包括利益	169	△124
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	166	△123
非支配株主に係る四半期包括利益	3	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	食品事業	油化事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,006	3,647	11,654	92	11,747	—	11,747
セグメント間の内部売上高 又は振替高	62	22	84	35	120	△120	—
計	8,068	3,670	11,738	128	11,867	△120	11,747
セグメント利益又は損失(△)	△408	52	△355	21	△334	—	△334

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、原料油脂等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	食品事業	油化事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,240	4,387	13,628	212	13,840	—	13,840
セグメント間の内部売上高 又は振替高	79	69	148	35	184	△184	—
計	9,319	4,457	13,777	248	14,025	△184	13,840
セグメント利益又は損失(△)	△260	129	△130	7	△123	—	△123

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、原料油脂等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。